

科目名		キャリアデザインI			
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔と対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	150
授業概要、目的、 授業の進め方	1、学校やクラスを知り、新しい環境に慣れる。 2、各コースの振り組みやクラス内で活動を通して友人をつくる。 3、各学期初めに目標を設定する 4、学期末に目標の振り返りを行う				
学習目標 (到達目標)	2年生に進級できる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	時間割・年間スケジュール・学生の手引き・スタディサプリ・その他レジュメ				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～3	新入生オリエンテーション①: 学校を知る	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
4～6	新入生オリエンテーション②: 学校のルールを知る	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
7	英語レベルチェック	現在の英語のレベルを知る			
8～10	パソコンの設定 (Zoom、メールなど)	学校総務が自身でパソコンを購入する			
11～12	新入生オリエンテーション③: クラスを知る	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
13～14	新入生オリエンテーション④: 不安を解消する	クラス交流			
15～16	クラスホームルーム 自己発見検査 卒生証登録	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
17～18	クラスホームルーム 時間割の見方やスケジュールについて	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
19～20	クラスホームルーム クラス内で話せる友人を増やす	クラス交流			
21～26	前期目標設定	パソコンで作成。			
27～28	2年生との交流で、相談できる環境をつくる	オンラインZoomを使用。			
29～34	個人面談+課題 (レポート作成)	パソコンで作成。			
35～36	インターンシップ身だしなみについて	パソコンを使用。			
37～40	海外研修旅行 行先別語合わせ	パソコンを使用。			
41～42	健康診断	パソコンを使用。			
43～46	学年交流 妙高研修旅行 説明	レジュメ作成。			
47～52	妙高研修旅行 当日	レジュメ作成。			
53	バス旅行 振り返り	レポート提出。			
54～55	NSG大運動会について 説明	レジュメを使用。			
56～61	NSG大運動会 本番	レジュメを使用。			
62～63	センスアップテスト	レジュメを使用。			
64～65	夏休みの過ごし方・夏休み後のスケジュールについて	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
66～68	前期振り返り～後期のスケジュールについて	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
69～72	後期目標設定	パソコンで作成。			
73～78	個人面談+課題 (進級制作発表会準備)	オンラインZoomを使用。			
79～84	ブレ求職登録面接準備	レジュメを使用。			
85～90	ブレ求職登録面接	レジュメを使用。			
91～94	年明け時間割・スケジュールについて	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
95～107	求職登録面接準備	レジュメを使用。			
108～115	求職登録面接①	レジュメを使用。			
116～123	求職登録面接②	レジュメを使用。			
124～131	求職登録面接③	レジュメを使用。			
132～141	グループディスカッション練習	レジュメを使用。			
142～147	グループ面接練習	レジュメを使用。			
148	1年間振り返り	レポート提出。			
149～150	修了式	雑講や演説があれば実施しておく。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業出席・出席率100%		スケジュール協賛と目的協議を持って、積極的に取り組んでください。			
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	就職対策				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	70
授業概要、目的、授業の進め方	就職活動の流れや必要な事柄について理解し、個人で準備ができるように指導する 1. 就職活動の流れ 2. 自己分析 3. 企業研究 4. 書類・面接について				
学習目標 (到達目標)	自分の人生スケジュールを考えながら、就職活動に向かうことができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	勝つための就職ガイド Success				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	就職活動の心構え 就職活動の流れ		テキスト P.6～		
3 4	履歴書・エントリーシート の書き方		テキスト P.14～		
5～8	動画履歴書作成		テキスト P.18～		
9 10	自己分析 自分自身を知る		テキスト P.27～		
11 12	職業を知る 自己分析				
13～18	論理的文章の書き方・考え方				
19 20	情報収集・企業研究				
21～23	情報収集のポイント		テキスト P.36～		
24～30	面接指導 自己分析 自己PR		テキスト P.52～		
31～35	面接練習 ・ 企業研究 ・ サイトの活用		テキスト P.66～		
36～50	就職研修 履歴書の写真撮影など				
51～55	研修振り返り・企業研究				
55～60	就職研修(1月)・求職登録面接				
61～70	就職研修(2月)・求職登録面接				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅰ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	テキストを中心に文書の書き方を繰り返し学習する。PCを使って、実際の社内文書、社外文書、メール文書等を仕上げていく				
学習目標 (到達目標)	敬語、ビジネス用語と漢字、基礎ビジネス文書が書ける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践ビジネスマナー				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	ガイド 第1章 表記技能		漢字、書式のテキスト内の問題を解く		
5～9	ガイド 第2章 表現技能		正確な文章、ねじれない文書内の問題を解く		
10～13	ガイド 第3章 実務技能		社外文書の例を探す／ロールプレイ		
12～15	過去問題、PCを使って文章を作成する				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験結果50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語やビジネスシーンで使う単語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実践行動学Ⅰ				
担当教員	馬場 秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	意欲的な心構え・自分自身の可能性を導き出す為の為に、体験→気付き→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	半年毎の目標を設定させ、目標の実現を目指す為の思考力を学ぶ				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	パート1 マジックドア1 夢と目標	個人作業・グループディスカッション			
2	パート1 マジックドア2 間違っただ思い込みと言ひ訳	個人作業・グループディスカッション			
3,4	パート1 マジックドア3 自分への信頼を取り戻すために①	個人作業・グループディスカッション			
5,6	パート1 マジックドア4 自分への信頼を取り戻すために②	個人作業・グループディスカッション			
7	パート1 マジックドア5 目標を設定しよう	個人作業・グループディスカッション			
8	パート2 マジックドア1 プラス思考が能力・可能性を広げる	個人作業・グループディスカッション			
9、10	パート2 マジックドア2 考え方を換えれば行動が変わる	個人作業・グループディスカッション			
11、12	パート2 マジックドア3 あなたの問題はあなたが解決する	個人作業・グループディスカッション			
13,14	パート2 マジックドア4 コミュニケーションスタイルを見直そう	個人作業・グループディスカッション			
15	パート2 マジックドア5 目標が才能・可能性を開花させる	個人作業・グループディスカッション			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		明確な目標設定を行なわせ、常に向上心を持たせられるよう留意する。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

科目名		コミュニケーション			
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1.社会においてコミュニケーションの大切さを知る 2.あらゆる場面で、よりスムーズなコミュニケーションをとるための技術を身につける				
学習目標 (到達目標)	コミュニケーション検定初級の取得を目指す				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウイネット発行 コミュニケーション技法・コミュニケーション検定初級 公式ガイドブック&問題集				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1・2	・検定詳細、動機付け、授業の進め方 ・行動をチェックする ・コミュニケーションの定義	講義（コミュニケーション技法テキスト使用）			
3・4	・コミュニケーションの基本を身につけよう	講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）			
5・6	・話すときの心構えを理解しよう	講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）			
7・8	・効果的な話し方を身につけよう	講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）			
9・10	・きれいな発声・発音を身につけよう	講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）			
11・12	・正しい日本語を身につけよう	講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）			
13・14	・効果的な表現力を身につけよう	講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）			
15・16	・聞くことの重要性	講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）			
17・18	・各種コミュニケーション場面とポイント	問題演習・解答解説（公式ガイドブック使用）			
19・20	過去問題1	問題演習・解答解説（公式ガイドブック使用）			
21・22	過去問題2	問題演習・解答解説			
23・24	過去問題3（マークシートを使って）	問題演習・解答解説			
25・26	過去問題4（マークシートを使って）	問題演習・解答解説			
27・28	過去問題5（マークシートを使って）	問題演習・解答解説			
29・30	検定本番、振り返り	問題演習・解答解説			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
過去問題テスト80%、授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		全員合格を目指すために、復習に力を入れる 分からない部分は友達同士で共有・解決できる環境を作る			
実務経験教員の経歴	ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホスピタリエ				
担当教員	高橋香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1.ホスピタリエ資格取得をし、ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標 (到達目標)	日常生活の中にホスピタリエの視点を自然にとりいれられるようにする。 社会の課題をホスピタリティの視点で見つめ、自分の考えを持つ思考習慣を身に着ける。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	筆記用具				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～5	ホスピタリエ認定講座	パワーポイント・テキスト			
6	ホスピタリエが学ぶホスピタリティ	パワーポイント			
7	ごきげんなホスピタリエになるために必要な5つの資質	パワーポイント			
8	ホスピタリエのコミュニケーション習慣	パワーポイント			
9	ホスピタリエの共感力を磨こう！	パワーポイント			
10	ホスピタリエが家族に一番近い他人になるために	パワーポイント			
11	ホスピタリエのホスピタリエ紹介	パワーポイント			
12	ホスピタリエの学校生活とファーストステップ	パワーポイント			
13	起きてから寝るまでのファーストステップ	パワーポイント			
14	ホスピタリエの5つの資質の再チェック	パワーポイント			
15	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント			
16	自分のイヤ 自分以外のイヤ	パワーポイント			
17	フューネラルビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
18	ホスピタリエが考えるホスピタリティ産業	パワーポイント			
19	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント			
20	学校生活の中でホスピタリエの学びが役立った事例レポート	パワーポイント			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。			
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅰ				
担当教員	竹内正明	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要パソコンスキルを学び、word検定に合格する				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ ワード文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サーティファイ WORD2021クイックマスター基本編 ワード文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	Wordの基本		実習		
3・4	文字の入力と編集の基本操作		実習		
5・6	文書の編集		実習		
7・8	文書の印刷		実習		
9・10	文書の作成		実習		
11・12	表を使った文書の作成				
13・14	図形や画像を使った文書の作成		実習		
15・16	検定対策 問題集 練習問題 1		実習		
17・18	検定対策 問題集 練習問題 2		実習		
19・20	検定対策 問題集 練習問題 3		実習		
21・22	検定対策 問題集 模擬問題 1		実習		
23・24	検定対策 問題集 模擬問題 2		実習		
25・26	検定対策 問題集 模擬問題 3				
27・28	検定対策 問題集 模擬問題 4				
29・30	検定対策 問題集 模擬問題 5				
31・32	サンプル問題				
33・34	過去問題 1				
35	検定試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			問題集をクリアすることで、検定合格率がアップすることから、学生のモチベーションをキープさせ、必ず終了するように考慮する。		
実務経験教員の経歴		営業、企画、学校設立、教育指導経験あり			

科目名	日常英会話 I				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	<p>スタディサプリEnglishを利用し、自主学習でついた英語力を全体授業で確認していきます。 お客様とのコミュニケーションに英語は欠かせないため、英語力を強化します。 英語の問題を解くだけでなく、発話する力をつけるため一人ひとりの発話チェックの時間をもうけています。毎回、単語テストを行い習得状況を把握します。</p>				
学習目標 (到達目標)	英語での会話に緊張せず対応できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	スタディサプリEnglish				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1.2	オリエンテーション Unit1			スタディサプリEnglish・ロールプレイ・単語テスト	
3	Unit1 Lesson5 トレーニング1・2・4				
4	Unit2 Lesson10 トレーニング1・2・4				
5	Unit3 Lesson15 トレーニング1・2・4				
6	Unit4 Lesson20 トレーニング1・2・4				
7	Unit5 Lesson25 トレーニング1・2・4				
8	Unit6 Lesson30 トレーニング1・2・4				
9	Unit7 Lesson35 トレーニング1・2・4				
10	Unit8 Lesson40 トレーニング1・2・4				
11	テスト練習				
12・13	テスト				
14	振り返り				
15	Unit9 Lesson45 トレーニング1・2・4				
16	Unit10 Lesson50 トレーニング1・2・4				
17	Unit11 Lesson55 トレーニング1・2・4				
18	Unit12 Lesson60 トレーニング1・2・4				
19	Unit13 Lesson65 トレーニング1・2・4				
20	Unit14 Lesson70 トレーニング1・2・4				
21	Unit15 Lesson75 トレーニング1・2・4				
22	Unit16 Lesson80 トレーニング1・2・4				
23	テスト練習				
24	テスト				
25	振り返り				
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
授業態度40% 試験60% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				アプリを中心に学び、単語テストも適宜行う。	
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

科目名		評価概要				
担当教員	馬場秀志	業務授業の形態	○	授業形態	息遣と対面	
対象学科	国際ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年	
必修・選択	必修	単位数		時間数	160	
授業概要、目的、授業の進め方	1. 組織の一般論を学ぶ。 2. 経営理念を取り入れる方法を学ぶ。 3. 経営理念の経営戦略的価値を学ぶ。 4. 組織ごとの特色を学ぶ。					
学習目標 (到達目標)	授業テキストで学習する					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	教科用「組織学」のレジュメを使用					
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考				
1～2	オリエンテーション(授業の目的を知る)	自己紹介				
3～6	業を取り巻く環境(企業化、企業の取組)について学ぶ	レジュメ作成				
7～10	組織の概要を知る	レジュメ作成				
11～14	「業が営めぬ」とは何か	組織の歴史の講義(160分)				
15～18	経営理念と使命の価値を知る	レジュメ作成				
19～22	関連企業について知る	レジュメ作成				
23～26	業の根幹について知る	レジュメ作成				
27～30	業で働くということを知る	オンラインZoomを使用し、卒業生との対談を行う				
31～34	組織の源れを知る 経営→責任の移転	組織学論 P102～P108				
35～38	組織の源れを知る 会社変革→経営	組織学論 P107～P109 P115～P117				
39～42	組織の源れを知る 戦国社、戦後新卒→人事経営	組織学論 P100～P101				
43～46	組織の源れを知る 運命、組織の「不吉」	組織学論 P109～P115				
47～50	組織の源れを知る 経営宣言、経営	組織学論 P164～P166				
51～54	組織の源れを知る 空想、創り付け	組織学論 P125～P131				
55～58	組織の源れを知る 内部の仕度	組織学論 P118～P124				
59～62	組織の源れを知る 経営について	組織学論 P134 P147～P148				
63～66	組織の源れを知る 運命とは	組織学論 P122～P125				
67～70	組織の源れを知る 組織、経営者	組織学論 P135～P144				
71～74	組織の源れを知る 上場→人事経営	組織学論 P144～P148				
75～78	組織の源れを知る 法則、経営	組織学論 P149 P154～158				
79～82	組織の源れを知る 宗教、法則について	組織学論 P186～P193				
83～84	確認テスト	テストを作成				
85～86	インターンシップについて自己説明	レジュメを使用				
87～90	インターンシップの自己説明(企業説明)	授業の場で個別指導				
91～94	インターンシップが経営者視点	視察報告書へ活用する				
95～98	インターンシップ企業紹介(1)の作成	パソコンを使用				
99～100	インターンシップ企業発表	パワーポイントで発表する				
101～102	インターンシップ振り返り	レポート提出				
103～106	組織の歴史を知る(宗教、文化、お祭りの歴史)	レジュメ及び講義資料				
107～110	組織の歴史を知る(宗教、文化の歴史)	レジュメ及び講義資料				
111～114	組織の歴史を知る(神話・伝説、精進寺と山伏の歴史)	レジュメ及び講義資料				
115～118	組織の歴史を知る(神話・伝説、精進寺と山伏の歴史)	レジュメ及び講義資料				
119～122	組織の歴史を知る(宗教以外、神話、キリスト教)	レジュメ及び講義資料				
123～126	お祭りに関して(歴史、祭り、お祭り)	レジュメ及び講義資料				
127～130	お祭りに関して(歴史、祭り)	レジュメ及び講義資料				
31～34	組織の歴史を知る(歴史、文化)	レジュメ及び講義資料				
35～38	組織の歴史を知る(歴史の作法)	レジュメ及び講義資料				
39～42	インターンシップの自己説明(企業説明)	パソコンを使用				
43～46	インターンシップが経営者視点	視察報告書へ活用する				
47～50	インターンシップ企業説明(1)の作成	パソコンを使用				
51～54	インターンシップ企業発表	パワーポイントで発表する				
55～58	インターンシップ振り返り	レポート提出				
59～62	お祭りに関して(歴史、祭り、お祭り)	組織学論 P263～P270				
63～66	お祭りに関して(歴史、祭り、お祭り)	組織学論 P273～P281				
67～70	お祭りに関して(歴史、祭り、お祭り)	組織学論 P282～P289				
71～74	お祭りに関して(歴史、祭り、お祭り)	組織学論 P290～P298				
75～78	お祭りに関して(歴史、祭り、お祭り)	組織学論 P299～P304				
79	確認テスト					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意				
授業進捗率(100/60%)、確認テスト(20%)		レポート(10%)、自己紹介(10%)、レジュメ作成(10%)、インターンシップの自己説明(10%)、インターンシップが経営者視点(10%)、インターンシップ企業説明(10%)、インターンシップ企業発表(10%)、インターンシップ振り返り(10%)				
成績評価基準は、S(90%)以上・A(80%)以上・B(70%)以上・C(60%)以上・D(50%)以下とする						
実務経験教員の経歴	国際ディレクターとして現場に8年間関わった。					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	葬儀実務				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	40
授業概要、目的、授業の進め方	1. 実習を通して遺体の搬送や電話応対、納棺や着せ替え、葬儀の司会などの技術を身につける。				
学習目標 (到達目標)	確認テストに合格する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論ほかレジュメを使用。				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	オリエンテーション～授業の目的を知る	レジュメを使用。			
3 4	電話応対を学ぶ	レジュメを使用。			
5 6	遺体の搬送について学ぶ	搬送の実習を行う			
7 8	遺体の安置、夜間の宿直業務を学ぶ	遺体の安置実習を行う			
9 10	葬儀の相談内容を学ぶ	相談内容をテキストなどで知る			
11 12	自宅飾り（祭壇設営、門パイ出し、床の間飾り、神棚封じ）を知る	自宅飾りの道具を画像などで知る			
13 14	自宅迎え（自宅から式場への搬送）を学ぶ	レジュメにて業務のポイントを知る			
15～20	納棺着せ替え実習	納棺時の着せ替えを実習で覚える			
21～24	幕張実習	検定の幕張課題のやり方を覚える			
25～28	葬儀の司会実習	実際の葬儀に使用する台本で司会の話し方を覚える			
29～32	接遇・司会実習	検定の接遇・司会実習のやり方を学ぶ			
33～38	検定課題幕張を8分以内でできるようになる	自分の目標タイムを設定する			
39～40	確認テスト				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
テスト80%、出欠席20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		インターンシップ前に葬儀の業務を経験することで、受け身の研修ではなく、自ら積極的に関わられるようにする。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	手話Ⅰ				
担当教員	NPO法人にいま～る	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1、手話の基本を学ぶ。 2、思いやりの気持ちを育む				
学習目標 (到達目標)	手話で自己紹介ができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ゼロから分かる手話入門				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	自己紹介				
3 4	指文字「あ行～な行」		テキストと動画を使用。		
5 6	指文字「は行～和行」		テキストと動画を使用。		
7 8	挨拶の単語を学ぶ		テキストと動画を使用。		
9 10	地名の単語・食べ物単語を学ぶ		テキストと動画を使用。		
11 12	都道府県名、代表的な都市名を学ぶ		テキストと動画を使用。		
13 14	過去と未来の単語、会話を学ぶ		テキストと動画を使用。		
15 16	性格・趣味の単語を学ぶ		テキストと動画を使用。		
17 18	確認テスト		テキストと動画を使用。		
19 20	振り返り		テキストと動画を使用。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度80% 確認テスト20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			授業で学んだことを私生活でも生かせるように、積極的に取り組んでください。		
実務経験教員の経歴	手話教室と聴覚障害者の就労自立支援を10年以上行っている				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	葬祭フラワーⅠ				
担当教員	坂上久美子	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	1、フラワーアレンジメントの基礎知識を学び、墓花や仏花の作成を実践で学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	枕花（フラワーアレンジメント）を作成する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	授業で使用する生花を手配する（予算を決めておく）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	墓花・仏花を作成してみる		実習で学ぶ。		
5～8	遺影写真脇の生花のアレンジを作成してみる		実習で学ぶ。		
9～10	枕花（フラワーアレンジメント）を作成する		実習で学ぶ。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			生花の扱い方に慣れる。		
生花店を経営して15年以上携わっている					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	グリーフサポートⅠ				
担当教員	小林伸子	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	1、グリーフとはどういうものかを知る 2、死を迎えるまでの本人や家族の心理を知る。				
学習目標 (到達目標)	グリーフに関する知識を身につける				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	レジュメを使用。				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	オリエンテーション～「グリーフ」とは何かを学ぶ	レジュメを使用。			
3 4	病院でのエンゼルケア～看取りについて学ぶ	レジュメを使用。			
5 6	グリーフがもたらす身体的な影響について学ぶ	レジュメを使用。			
7 8	グリーフとの具体的な向き合い方について学ぶ	レジュメを使用。			
9 10	最終レポート作成	レジュメを使用。			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度50%	最終レポート50%	授業の目的を理解し、自分だったらと想像しながら取り組んでください。			
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	看護師としてホスピスにて20年間勤務				

心理学（こころ検定対策）					
科目名					
担当教員	馬場秀憲	入校経年の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	60
授業概要、目的、授業の進め方	1. 心理学の基本的知識を学ぶ。 2. 自身の気持ちにもきき合う				
学習目標（到達目標）	こころ検定4級に合格する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	こころ検定4級公式テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション～検定について知る		テキストとパワーポイントを使用。		
2	第1章 学習心理学 「学習」「行動」「反応」とは		テキストとパワーポイントを使用。		
3	第1章 学習心理学 「レスポナドント行動」「オペラント行動」		テキストとパワーポイントを使用。		
4	第1章 学習心理学 「バロウの人の4属性（バロ）」「9つのI」「10のR」		テキストとパワーポイントを使用。		
5	第1章 学習心理学 「テスト効果」「テスト」「ワーキングメモリー」		テキストとパワーポイントを使用。		
6	第1章 学習心理学 「授業の知識」「分散効果」「集中練習」		テキストとパワーポイントを使用。		
7	第1章 学習心理学 「認知の基盤の原則」「認知行動」「認知行動療法」		テキストとパワーポイントを使用。		
8	第2章 認知心理学 「人のこころの流れについて」		テキストとパワーポイントを使用。		
9	第2章 認知心理学 「知覚とは」「人の物事の捉え方や考え方の違い」		テキストとパワーポイントを使用。		
10	第2章 認知心理学 「記憶について」		テキストとパワーポイントを使用。		
11	第2章 認知心理学 「初級効果」「新近効果」など様々な効果		テキストとパワーポイントを使用。		
12	第2章 認知心理学 「記憶に関する様々な現象について」		テキストとパワーポイントを使用。		
13	第2章 認知心理学 「エピソード」「ヒューリスティック」「アンカリング」		テキストとパワーポイントを使用。		
14	第2章 認知心理学 「時間」の記憶について		テキストとパワーポイントを使用。		
15	第3章 生理心理学 「生理心理学とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
16	第3章 生理心理学 「神経伝達物質」		テキストとパワーポイントを使用。		
17	第3章 生理心理学 「脳波の種類」		テキストとパワーポイントを使用。		
18	第3章 生理心理学 「ホルモンの役割」		テキストとパワーポイントを使用。		
19	第3章 生理心理学 「ストレス」		テキストとパワーポイントを使用。		
20	第4章 知覚心理学 「知覚心理学とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
21	第4章 知覚心理学 「両眼手がかり」「単眼手がかり」		テキストとパワーポイントを使用。		
22	第4章 知覚心理学 「錯視」		テキストとパワーポイントを使用。		
23	第4章 知覚心理学 「捕獲」		テキストとパワーポイントを使用。		
24	第4章 知覚心理学 「視覚統合」		テキストとパワーポイントを使用。		
25	第5章 社会心理学 「社会心理学とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
26	第5章 社会心理学 「どうして他者が気になるのか？」		テキストとパワーポイントを使用。		
27	第5章 社会心理学 「対人認知」		テキストとパワーポイントを使用。		
28	第5章 社会心理学 「コミュニケーションと効果」		テキストとパワーポイントを使用。		
29	第5章 社会心理学 「個人と集団の心理の違い」		テキストとパワーポイントを使用。		
30	第6章 感情心理学 「感情心理学とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
31	第6章 感情心理学 「ネガティブな感情」「ポジティブな感情」		テキストとパワーポイントを使用。		
32	第6章 感情心理学 「感情理論」		テキストとパワーポイントを使用。		
33	第6章 感情心理学 「感情と行動について」		テキストとパワーポイントを使用。		
34	第6章 感情心理学 「気持ちを測定する」		テキストとパワーポイントを使用。		
35	第6章 感情心理学 「肉体的な機かけ」「外的な機かけ」		テキストとパワーポイントを使用。		
36	第7章 知能 「知能とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
37	第7章 知能 「知能の測定」		テキストとパワーポイントを使用。		
38	第7章 知能 「社会的知能」「知性」		テキストとパワーポイントを使用。		
39	第7章 知能 「人間と動物の知能」		テキストとパワーポイントを使用。		
40	第7章 知能 「知能の測定」		テキストとパワーポイントを使用。		
41～60	検定対策 問題の取り組み		過去問題、オリジナル問題を使用。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度20%、確認テスト80%					
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(50点以下)とする。			4級合格が最低の目標。卒業まで、準備は万全にしておくこと。		
実務経験教員の経歴		葬祭ディレクターとして現場で8年以上携わっている			

科目名		イベントプロデュースⅠ			
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔と対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	80
授業概要、目的、 授業の進め方	1、お別れ会プラン企画発表会を通じて、自分たちが学んだことを形にして他者から評価を受ける。 2、模擬葬儀イベントを通じてチームワークを身につける。 3、企業連携により、社会に関わる意識を育てる。 4、成長した姿を保護者に見てもらい、就職活動を応援してもらう。				
学習目標 (到達目標)	1. 在校生や保護者に向けて、学んだことを披露する 2. 企業・業界に向けて自分たちの考えを表現し、業界に関わる意識を育てる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～2	オリエンテーション～イベント内容を知る	時間割や年間スケジュールを使用。			
3～6	お別れ会プランの企画を考える	パソコンで調べ学習。			
7～12	発表台本・PP作成	パソコンで作成。			
13～15	お別れ会プラン企画発表会	本番を想定して、身だしなみを整える。			
16～17	イベント振り返り	レポート提出。			
18～21	「お寺でゴーン」準備	選抜メンバーだけでなく全員で協力する。			
22～26	「お寺でゴーン」リハーサル	本番を想定してリハーサル			
27～30	「お寺でゴーン」本番	本番を想定して、身だしなみを整える。			
31～32	「お寺でゴーン」振り返り	レポート提出。			
33～36	模擬葬儀準備（個人設定、役割決め）	チームで1つの葬儀をつくる。			
37～44	模擬葬儀リハーサル	企業に見てもらうため、身だしなみや話し方にも気を配る。			
45～48	模擬葬儀本番	企業で実施予定。			
49～50	イベント振り返り	レポート提出。			
51～55	秋フェス準備	2年生と協力して、内容決める。			
56～61	秋フェス本番	不測の事態を予想しながら取り組む。			
62～63	イベント振り返り	レポート提出。			
64～67	進級制作発表会の目的・テーマ決め	進級制作テーマを決める。			
68～72	台本・PP作成	業界専門用語を分かりやすい表現にする。			
73～76	進級制作発表会リハーサル	本番を想定してリハーサルを行う。			
77～78	進級制作発表会本番	保護者向け発表会。			
79～80	振り返り	レポート提出。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		自分自身の成長やスキルアップにつなげるために、いろんな役割にチャレンジしてください。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった				

科目名		インターンシップ研修（葬祭）			
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	70
授業概要、目的、授業の進め方	1. 会社で働くということ学ぶ 2. 仕事のやりがいなどを聞き、目指す姿を見つける 3. 葬儀社の働き方を知る				
学習目標 (到達目標)	インターンシップ企業からの評価をもらう				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 ほか				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1~4	オリエンテーション・企業内見学		身嗜みや言葉遣いに注意。学生ではなく社会人としての意識を持つ。		
5~8	OJTによる業務体験（式場準備）		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
9~12	OJTによる業務体験（ご遺体搬送）		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
13~16	OJTによる業務体験（電話対応）		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
17~20	OJTによる業務体験（ご遺体安置）		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
21~24	OJTによる業務体験（役所への手続き書類作成）		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
25~28	OJTによる業務体験（納棺）		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
29~32	OJTによる業務体験（通夜立ち合い）		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
33~36	OJTによる業務体験（葬儀立ち合い）		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
37~40	OJTによる業務体験（火葬場同行）		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
41~44	OJTによる業務体験（司会業務）		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
45~48	OJTによる業務体験（自宅飾り）		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
49~52	OJTによる業務体験（受注業務）		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
53~56	OJTによる業務体験（業者への商品発注など）		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
57~60	OJTによる業務体験（請求書など葬儀後のフォロー）		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
61~64	OJTによる業務体験（年忌法要）		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
65~68	OJTによる業務体験（飲食業務補助）		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
69~70	学んだことを整理して振り返り		パソコンで作成。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
勤務態度100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ご遺族と関わることもあるため、リクルースタイルで勤務する。OJTで社員について学ぶので、メモを持ち歩く。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	料飲サービス				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	①サービススタッフに求められる振る舞いや身だしなみ、マナーを身につける。 ②通夜振る舞いや精進落としてのサービスに活かす				
学習目標 (到達目標)	一連のサービスができるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	レジュメ作成				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	授業の目的・挨拶練習・テーブルクロス・ナフキン扱い方				
2・3	テーブルセッティング、ウォーターサービス				
4・5	トレイサービス、プレートサービス				
6・7	コーヒーサービス、ワインサービス				
8・9	一連の流れ 練習				
10	確認テスト				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。		レストランサービスをベースに丁寧、迅速な振る舞いを身につけ、お客様から見て落ち着きや安心感を与えられるスタッフを目指しましょう。			
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

科目名	ホテル概論Ⅰ（初級編）				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウェディング科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、 授業の進め方	ホテルや宿泊産業の概要、観光産業の中の位置付けを理解する。ホテルの種類や形態、その組織及び代表的な職種とその業務内容を体系的に学び、業務の基礎知識も身につけて行く。そして、ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、この後に続く就職活動・進路選択に役立てて行く。				
学習目標 (到達目標)	1.ホテル業界の概要、ホテルの種類、及び各部門の代表的な職種・業務内容の把握と基礎知識の習得。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント教材（適宜、レジュメ資料を配布）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ホテル業界を取り巻く環境・現況		レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明		
2	ホテルの種類・形態		↓		
3	ホテルの職種・職務内容				
4	ホテルの形態 / ホテルの種類・組織・職種				
5	代表的なホテル 事例紹介				
評価方法・成績評価基準					
出席(ミニ課題含む) 40点 授業態度 10点 中間試験 20点, 期末試験 30点 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、その後に続くインターンや就職活動・進路選択に役立てて行く。		
実務経験教員の経歴		ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライダルスタンダード				
担当教員	伊波華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ブライダルの由来について理解する 2、ディスカッションにて意見を出し合う				
学習目標 (到達目標)	一般教養として結婚式・披露宴を学ぶ(結婚式に招待されたときなど)				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ノートのみ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	結婚式にまつわる意味や由来について		パワーポで説明。ディスカッション。		
2	披露宴の演出について		パワーポで説明。ディスカッション。		
3	披露宴の演出について		パワーポで説明。ディスカッション。		
4	披露宴の演出について		パワーポで説明。ディスカッション。		
5	結婚式に招待された場合のポイント説明		パワーポで説明。ディスカッション。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出欠席100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			グループディスカッションを通して、自分の考えを持ち人に述べる力を有てる。ブライダルにおいての一般常識を学ぶ		
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナー、アテンダー、衣裳コーディネーターとして現場に約12年携わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	センスアップセミナー				
担当教員	伊波 華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	全学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	業界に必要なセンスアップを実習をとおして習得する				
学習目標 (到達目標)	印象の良いヘアメイクを15分以内に出来るようになる。正しい姿勢で「歩く 立つ 座る」ができる。正しい発声・発音出来る。話し方ができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウイネット コミュニケーション技法 プリント対応				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	ヘアメイク:おしゃれと身だしなみの違い ヘアスタイル		ヘアメイク実習		
3 4	ヘア仕上がりチェック フルデモンストレーション 眉のみ練習		ヘアメイク実習		
5	メイク練習		ヘアメイク実習		
6	ヘアメイクを完璧に仕上げる		ヘアメイク実習		
7	歩き方:基本姿勢 表情 お辞儀の仕方		テキスト28・29Pを参考にしながら		
8	話し方:発声・活舌トレーニング		テキスト38~42p 50~52p		
9	発声・活舌トレーニング 敬語プリント		テキスト53~66p		
10	ビジネス会話 美しい日本語のフレーズ		テキスト67~68p		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			お客様に見られていることを常に意識できるように学習を重ねること。		
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナー、アテンダー、衣裳コーディネーターとして現場に約12年携わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	キャリアデザインII				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔と対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	100
授業概要、目的、授業の進め方	1、各学期初めに目標を設定する 2、学期末に目標の振り返りを行う				
学習目標 (到達目標)	卒業できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	時間割・年間スケジュール・学生の手引き・レジュメを使用。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	進級生オリエンテーション		時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用		
2～7	個人面談+就職活動		就職活動用のレジュメを準備。		
8～13	前期目標設定		パソコンで作成する。		
14～19	学校のルールを再確認する		学生の手引きを使用する。		
20～25	1年生との交流会		クラス委員長、副委員長が主体で準備する。		
26～29	コース内交流会		レジュメを使用。		
30～36	前期発表 内容決め		パソコンで作成する。		
37～42	NSG大運動会 準備		レジュメを使用。		
43～48	NSG大運動会 当日		レジュメを使用。		
49～52	夏休み後時間割・スケジュールについて		時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用		
53～58	前期発表 台本・PP準備		パソコンで作成する。		
59～64	前期発表の録画をして、編集する		パソコンで作成する。		
65～70	個人面談+就職活動もしくは課題		オンラインZoomを使用。課題はパソコンで作成。		
71～76	NSG秋フェス 準備		レジュメを使用。		
77～82	NSG秋フェス 本番		レジュメを使用。		
83～90	企業向け報告書作成		レジュメを使用。		
91～94	企業向け報告書を完成させて企業にメール送信する		パソコンで作成する。		
95～98	年明け時間割り・スケジュールについて		時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用		
99～100	2年間振り返り・修了式		レポート提出。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			自分で時間管理やスケジュール管理を意識させながら、計画的に取り組むようにする。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅱ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	一度学習したテキストを中心に文書の書き方を繰り返し学習する。PCを使って、実際の社内文書、社外文書、メール文書等を仕上げていく。新たに、即戦力として役に立つ日常ビジネスマナーを身に付ける。				
学習目標 (到達目標)	敬語、ビジネス用語と漢字、基礎ビジネス文書に加えて、電話応対、来客応対をロールプレイをしながら一人で判断して対応できるレベルにする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践ビジネスマナー				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
12	ガイド 第1章 表記技能/実践ビジネスマナー	電話応対	漢字、書式のテキスト内の問題を解く/ロールプレイ		
34	ガイド 第1章 表記技能/実践ビジネスマナー	電話応対	漢字、書式のテキスト内の問題を解く/ロールプレイ		
56	ガイド 第2章 表現技能/実践ビジネスマナー	電話応対	正確な文章、ねじれない文書内の問題を解く		
78	ガイド 第2章 表現技能/実践ビジネスマナー	来客応対・敬語	正確な文章、ねじれない文書内の問題を解く		
9・10	ガイド 第3章 実務技能/実践ビジネスマナー	名刺の受け渡し	社外文書の例を探す/ロールプレイ		
11・12	ガイド 第3章 実務技能/実践ビジネスマナー	テスト練習	社外文書の例を探す/ロールプレイ		
13・14	期末テスト				
15	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験結果50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実践行動学Ⅱ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	1. 実践行動学Ⅰで学習した内容を踏まえ、1年間の振り返りを行う 2. 働くことへの意識を気付き→認識→一般化→応用という手法をとり入れ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	社会人へでの準備→2年後の目標→ライフプランへと段階を経て、将来の自分を具現化させる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パート3 マジックドア1 入学から今日までの成長を実感する		個人作業・グループディスカッション		
2	パート3 マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう		個人作業・グループディスカッション		
3	パート3 マジックドア3 自分が最大限に生きる働き方とは		個人作業・グループディスカッション		
4	パート3 マジックドア4 将来を描いてみよう		個人作業・グループディスカッション		
5	パート3 マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう		個人作業・グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			就職直後、数年後、未来・・・の目標を描かせることで、ポジティブな気持ちを継続させる。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホスピタリエ				
担当教員	高橋香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	1ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標 (到達目標)	ナレッジツリーのしくみを理解し、日常生活の中で知識教養が自然に身についていく生活習慣をつくる ホスピタリティ産業の中で、ホスピタリティがどのように活用され、あるいは活用されていないかを知り、実際のビジネスの現場について学びながら、自然にセカンドステップが発想できるようにトレーニングする。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	筆記用具				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	ホスピタリエが学ぶホスピタリティ	パワーポイント			
2	ホスピタリエとしてのホスピタリエの自己紹介	パワーポイント			
3	ホスピタリエの共感と同感の再確認と共感力コミュニケーション	パワーポイント			
4	知識を深めるナレッジツリー	パワーポイント			
5	ホスピタリエの教養講座①	パワーポイント			
6	ホスピタリエの教養講座②	パワーポイント			
7	ホスピタリエの教養講座③	パワーポイント			
8	ホスピタリエの教養講座④	パワーポイント			
9	ホスピタリエの教養講座⑤	パワーポイント			
10	ホスピタリエの教養講座⑥	パワーポイント			
11	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント			
12	自分のイヤ 自分以外の人のイヤ	パワーポイント			
13	料飲ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
14	ホテルビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
15	ウェディングビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
16	フューネラルビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
17	医療ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
18	航空ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
19	ホスピタリエが考えるホスピタリティ産業	パワーポイント			
20	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。			
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅲ				
担当教員	竹内正明		実務授業の有無	×	
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	データ入力、表計算、グラフ作成、データベース捜査のスキルを学び、E X C E L 検定初級を受検する。				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ エクセル文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サーティファイ E X C E L 2021クイックマスター基本編 エクセル文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～3	エクセルの基本 データの編集 表の編集		実習		
4～6	ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理		実習		
7～9	関数 データベース機能		実習		
10～12	練習問題1		実習		
13～15	練習問題2 3		実習		
16～18	模擬問題1 2		実習		
19～21	模擬問題3 4		実習		
22～24	模擬問題5 6		実習		
25・26	模擬問題7 苦手箇所の練習		実習		
27～33	サンプル問題 事前対策		実習		
34・35	エクセル検定3級受検		実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			復習をメインに模擬問題を確実なものにすることで、検定合格に結びつく為、モチベーションをキープするよう考慮する。		
実務経験教員の経歴	営業、企画、学校設立、教育指導経験あり				

科目名	日常英会話 II				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	<p>スタディサプリEnglishを利用し、自主学習でついた英語力を全体授業で確認していきます。 お客様とのコミュニケーションに英語は欠かせないため、英語力を強化します。 英語の問題を解くだけでなく、発話する力をつけるため一人ひとりの発話チェックの時間をもうけています。毎回、単語テストを行い習得状況を把握します。</p>				
学習目標 (到達目標)	英語での会話に緊張せず対応できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	スタディサプリEnglish				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1.2	オリエンテーション Unit1			スタディサプリEnglish・ロールプレイ・単語テスト	
3	Unit1 Lesson5 トレーニング1・2・4				
4	Unit2 Lesson10 トレーニング1・2・4				
5	Unit3 Lesson15 トレーニング1・2・4				
6	Unit4 Lesson20 トレーニング1・2・4				
7	Unit5 Lesson25 トレーニング1・2・4				
8	Unit6 Lesson30 トレーニング1・2・4				
9	Unit7 Lesson35 トレーニング1・2・4				
10	Unit8 Lesson40 トレーニング1・2・4				
11	テスト練習				
12・13	テスト				
14	振り返り				
15	Unit9 Lesson45 トレーニング1・2・4				
16	Unit10 Lesson50 トレーニング1・2・4				
17	Unit11 Lesson55 トレーニング1・2・4				
18	Unit12 Lesson60 トレーニング1・2・4				
19	Unit13 Lesson65 トレーニング1・2・4				
20	Unit14 Lesson70 トレーニング1・2・4				
21	Unit15 Lesson75 トレーニング1・2・4				
22	Unit16 Lesson80 トレーニング1・2・4				
23	テスト練習				
24	テスト				
25	振り返り				
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
授業態度40% 試験60% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				アプリを中心に学び、単語テストも適宜行う。	
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

科目名	葬儀概論Ⅱ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	110
授業概要、目的、 授業の進め方	1、葬祭業についての基礎知識（歴史、宗教、葬送儀礼、法律）を学ぶ。 2、テキストや検定の過去問題を使用し習得する				
学習目標 (到達目標)	一人ひとりが目指す業界人の姿を表現できるようになる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 葬祭ディレクター技能審査過去問題集2024				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	オリエンテーション 2年次の目標とスケジュールを知る		時間割・年間スケジュールを使用。		
3 4	葬祭ディレクター技能審査の内容知り、申し込みを行う		過去問題集を使用し、検定内容の把握や意識付け		
5~8	第1章 葬儀の意味		葬儀概論 P10~19		
9~18	第2章 葬儀の歴史		葬儀概論 P21~78		
19~24	第3章 死とその環境		葬儀概論 P81~P98		
25~38	第4章 葬儀の実際（復習）		葬儀概論 P100~P161		
39~52	第5章 葬儀の実際		葬儀概論 P164~P234		
53~60	第6章 社葬・団体葬		葬儀概論 P236~P250		
61~66	第7章 日本の宗教の概要		葬儀概論 P252~P262		
67~80	第8章 宗教儀礼		葬儀概論 P264~P307		
81~86	第9章 葬祭サービスと葬祭ディレクター		葬儀概論 P310~P324		
87~93	第10章 関連法規とその解説		葬儀概論 P328~P341		
94	過去問題（学科試験）に取り組む 2014		過去問題集を使用。		
95	過去問題（学科試験）に取り組む 2015		過去問題集を使用。		
96	過去問題（学科試験）に取り組む 2016		過去問題集を使用。		
97	過去問題（学科試験）に取り組む 2017		過去問題集を使用。		
98	過去問題（学科試験）に取り組む 2018		過去問題集を使用。		
99	過去問題（学科試験）に取り組む 2019		過去問題集を使用。		
100	過去問題（学科試験）に取り組む 2021		過去問題集を使用。		
101	過去問題（学科試験）に取り組む 2022		過去問題集を使用。		
102	過去問題（学科試験）に取り組む 2023		過去問題集を使用。		
103	オリジナル問題（歴史）に取り組む		オリジナル問題を使用。		
104	オリジナル問題（宗教）に取り組む		オリジナル問題を使用。		
105	オリジナル問題（法規税務）に取り組む		オリジナル問題を使用。		
106~109	実技筆記試験 過去問題（2015~2022）に取り組む		過去問題集を使用。		
110	2年間の振り返りレポート作成		レポート提出。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度50%、検定結果25%、学習意欲25% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			検定対策。復習や予習、課題提出などでくり返し学習すること。		
教員の経歴		葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった			

科目名	葬祭ディレクター検定対策講座				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔と対面
対象学科	葬祭ディレクター	対象学年	2年生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	45
授業概要、目的、 授業の進め方	1、検定に合格できる力をつける 宿題を用意し夏季休暇中も取り組みを継続する 非常勤と連携し、検定本番を想定した練習を実施する				
学習目標 (到達目標)	検定合格				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 葬祭ディレクター技能審査過去問題集2023				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る		過去問題 学科2022～解説		
3 4	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る		過去問題 学科2021～解説		
5 6	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る		過去問題 学科2019～解説		
7 8	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る		過去問題 学科2018～解説		
9 10	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る		過去問題 学科2017～解説		
11 12	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る		過去問題 学科2016～解説		
13 14	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る		過去問題 学科2015～解説		
15 16	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る		過去問題 学科2014～解説		
17 18	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る		過去問題 学科2013～解説		
19 20	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る		過去問題 学科2012～解説		
21 22	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る		過去問題 学科2011～解説		
23 24	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る		過去問題 学科2010～解説		
25 26	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る		過去問題 実技筆記2022～解説		
27 28	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る		過去問題 実技筆記2021～解説		
29 30	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る		過去問題 実技筆記2019～解説		
31 32	実技試験対策		検定課題 幕張		
33 34	実技試験対策		検定課題 接遇・司会		
35 36	実技試験対策		検定課題 幕張		
37 38	実技試験対策		検定課題 接遇・司会		
39 40	実技試験対策		検定課題 幕張		
41 42	実技試験対策		検定課題 接遇・司会		
43～45	各自苦手な問題に取り組む				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度20%、検定結果80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			検定対策特別講義。通常授業だけでなく本番1週間前に行い、合格への意識付けや学びの時間とする。		
教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	手話Ⅱ				
担当教員	NPO法人にいま～る	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	1、手話の幅広い表現を身につける 2、思いやりの気持ちを育む				
学習目標 (到達目標)	表情や身振り手振りなど幅広い表現力を身につける				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ゼロから分かる手話入門				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	1年生の振り返り	テキストと動画を使用。			
3 4	5 W1Hの使い方を学ぶ。	テキストと動画を使用。			
5 6	公共交通機関及び旅行で使われる日常会話の単語を学ぶ。	テキストと動画を使用。			
7 8	建物の単語、乗り物、食べ物の単語を学ぶ。	テキストと動画を使用。			
9 10	災害に関する単語を学ぶ。	テキストと動画を使用。			
11 12	交通機関に関する単語を学ぶ。	テキストと動画を使用。			
13 14	病院に関する単語を学ぶ。	テキストと動画を使用。			
15 16	郵便に関する単語を学ぶ。	テキストと動画を使用。			
17 18	銀行に関する単語を学ぶ。	テキストと動画を使用。			
19 20	都道府県に関する単語を学ぶ。	テキストと動画を使用。			
21 22	新しい言葉・単語を学ぶ。	テキストと動画を使用。			
23 24	確認テスト。	テキストと動画を使用。			
25	2年間の振り返り。	テキストと動画を使用。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度80% 確認テスト20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		授業で学んだことを私生活でも生かせるように、積極的に取り組んでください。			
実務経験教員の経歴	手話教室と聴覚障害者の就労自立支援を10年以上行っている				

科目名	祭壇設営・幕張				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	1、検定課題であるテーブル幕張の課題を覚え、実践できる 2、制限時間内に課題をクリアできる				
学習目標 (到達目標)	検定課題の合格				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	葬祭ディレクター技能審査過去問題集2023 ポンチ（葬儀用の幕）				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	1年生で学んだことを振り返る	過去問題集を使用。			
2	試験課題(テーブル装飾)の要点を理解する	検定の要項を見て確認する			
3	テーブル装飾のやり方を覚える	幕張の実習を行う・時間を意識する			
4	テーブル装飾のやり方を覚える	幕張の実習を行う・時間を意識する			
5	テーブル装飾のやり方を覚える	幕張の実習を行う・時間を意識する			
6	テーブル装飾のやり方を覚える	幕張の実習を行う・時間を意識する			
7	テーブル装飾の練習(タイムを計る)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
8	テーブル装飾の練習(タイムを計る)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
9	テーブル装飾の練習(タイムを計る)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
10	テーブル装飾の練習(タイムを計る)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
11	テーブル装飾練習(目標9分以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
12	テーブル装飾練習(目標9分以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
13	テーブル装飾練習(目標8分以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
14	テーブル装飾練習(目標8分以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
15	テーブル装飾練習(目標8分以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
16	テーブル装飾練習(目標7分台以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
17	テーブル装飾練習(目標7分台以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
18	テーブル装飾練習(7分台)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
19	テーブル装飾練習(7分台)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
20	テーブル装飾練習(7分台)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
21	テーブル装飾練習(7分台)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
22	テーブル装飾(7分以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
23	テーブル装飾(7分以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
24	テーブル装飾(7分以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
25	テーブル装飾(7分以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度20%、検定結果80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		検定対策。自分で課題を見つけながら、苦手なところを修正していく。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場で10年以上携わった				

科目名		司会実習			
担当教員	豊栄セレモア株式会社	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、 授業の進め方	1、検定課題である司会の課題を覚え、実践できる 2、制限時間内に課題をクリアできる				
学習目標 (到達目標)	検定課題の合格				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 葬祭ディレクター技能審査 過去問題集2023				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	授業の目的・内容の説明	過去問題集で説明。			
2	検定課題の司会のポイントや内容を覚える	検定の要項を見て確認する			
3	葬儀における司会の目的を知る	葬儀概論 P141～142			
4	葬儀における司会の役割を知る	葬儀概論 P143～144			
5	検定課題(司会)の例題を実際にやってみる	過去問題を使用。			
6～9	検定課題(司会)のセリフや流れを覚える	過去問題を使用。			
10	検定課題(司会)の過去問題2005年、平成14年を実施し問題に慣れる	過去問題を使用。			
11	検定課題(司会)の過去問題平成15年、16年を実施し問題に慣れる	過去問題を使用。			
12	検定課題(司会)の過去問題2005年を実施し問題に慣れる	過去問題を使用。			
13	検定課題(司会)の過去問題2009年、2010年を実施し問題に慣れる	過去問題を使用。			
14	検定課題(司会)の過去問題2006年、2007年を実施し問題に慣れる	過去問題を使用。			
15	過去問題の取り組み時間を計測する(自分のタイムを知る)	過去問題を使用。			
16	過去問題の取り組み時間を計測する(自分のタイムを知る)	過去問題を使用。			
17	過去問題の取り組み時間を計測する(自分のタイムを知る)	過去問題を使用。			
18	検定課題(司会)の過去問題2011年を実施し、4分以内で完成する	過去問題を使用。			
19	検定課題(司会)の過去問題2012年を実施し、4分以内で完成する	過去問題を使用。			
20	検定課題(司会)の過去問題2013年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する	過去問題を使用。			
21	検定課題(司会)の過去問題2014年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する	過去問題を使用。			
22	検定課題(司会)の過去問題2015年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する	過去問題を使用。			
23	検定課題(司会)の過去問題2016年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する	過去問題を使用。			
24	検定課題(司会)の過去問題2017年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する	過去問題を使用。			
25	検定課題(司会)の過去問題2018年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する	過去問題を使用。			
26	検定課題(司会)の過去問題2019年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する	過去問題を使用。			
27	検定課題(司会)の過去問題2021年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する	過去問題を使用。			
28	検定課題(司会)の過去問題2022年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する	過去問題を使用。			
29	本番の雰囲気等で検定課題(司会)のオリジナル問題を実施し、本番のイメージを持つとともに4分以内で完成する	過去問題を使用。			
30	本番の雰囲気等で検定課題(福運・司会)を続けて実施し、本番のイメージを持つとともに6分以内で完成する	過去問題を使用。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度20%、検定結果80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		検定対策。自分なりの課題を見つけて、修正すること。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場で20年以上携わっている				

科目名	接遇・受注（受注施行）				
担当教員	豊栄セレモア株式会社	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1、検定課題である接遇の課題を覚え、実践できる 2、制限時間内に課題をクリアできる				
学習目標 (到達目標)	検定課題の合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 葬祭ディレクター技能審査 過去問題集2023				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業の目的・内容の説明		問題集を使用。		
2	検定課題の司会のポイントを知る		検定の要項を見て確認する		
3	接遇対応（電話での対応）を実践し、遺族と葬儀社のやり取りのイメージを持つ		葬儀概論 P105～P107		
4	接遇対応（来店・自宅での対応）を実践し、遺族と葬儀社のやり取りのイメージを持つ		葬儀概論 P107～P109		
5	接遇対応（病院・自宅での応答）を覚えて実践できる		レジュメを使用する		
6	接遇対応（遺体の搬送安置）を実践し、イメージを持つ		実習で学ぶ。		
7	家族葬と一般葬の違いを知る		葬儀概論 P72		
8	検定課題（接遇）の例題を実際にやって傾向を知る		過去問題集を使用		
9	検定課題（接遇）の過去問題（2008年）を実践する		過去問題集を使用		
10	検定課題（接遇）の過去問題（2009年）を実践する		過去問題集を使用		
11	検定課題（接遇）の過去問題（2010年）を実践する		過去問題集を使用		
12	検定課題（接遇）の過去問題（2011年）を実践する		過去問題集を使用		
13	検定課題（接遇）の過去問題（2012年）を実施し、2分以内で完了する		過去問題集を使用		
14	検定課題（接遇）の過去問題（2013年）を実施し、2分以内で完了する		過去問題集を使用		
15	検定課題（接遇）の過去問題（2014年）を実施し、2分以内で完了する		過去問題集を使用		
16	検定課題（接遇）の過去問題（2015年）を実施し、2分以内で完了する		過去問題集を使用		
17	検定課題（接遇・司会2016年）を通して実施し、本番の流れを覚える		過去問題集を使用		
18	検定課題（接遇・司会2017年）を通して実施し、本番の流れを覚える		過去問題集を使用		
19	検定課題（接遇・司会2018年）を通して実施し、本番の流れを覚える		過去問題集を使用		
20	検定課題（接遇・司会2019年）を通して実施し、本番の流れを覚える		過去問題集を使用		
21	検定課題（接遇・司会2021年）を通して実施し、本番の流れを覚える		過去問題集を使用		
22	検定課題（接遇・司会2022年）を通して実施し、本番の流れを覚える		過去問題集を使用		
23	検定課題（接遇・司会オリジナル）を通して実施し、本番の流れを覚える		過去問題集を使用		
24	検定課題（接遇・司会オリジナル）を通して実施し、本番の流れを覚える		過去問題集を使用		
25	検定課題（接遇・司会オリジナル）を通して実施し、本番の流れを覚える		過去問題集を使用		
26	検定課題（接遇・司会オリジナル）を通して実施し、本番の流れを覚える		過去問題集を使用		
27	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する		過去問題集を使用		
28	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する		過去問題集を使用		
29	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する		過去問題集を使用		
30	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する		過去問題集を使用		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度20%、検定結果80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			検定対策。時間配分を意識しながら本番を想定した練習を行う。		
教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場で20年以上携わっている				

科目名	公衆衛生学				
担当教員	有限会社花久葬祭	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1、ご遺体の変化や感染症について知る				
学習目標 (到達目標)	確認テスト				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 ほかにレジュメを作成				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1~2	なぜ葬儀従事者に遺体処置や納棺の知識が必要なのかを知る		テキスト+レジュメを使用。		
3	死化粧が遺族にもたらす影響を知る		テキスト+レジュメを使用。		
4	葬儀における湯灌・納棺の種類や目的を知る		テキスト+レジュメを使用。		
5	儀式としての湯灌・納棺の意味を知る		テキスト+レジュメを使用。		
6	副葬品について学ぶ		テキスト+レジュメを使用。		
7~8	湯灌・納棺の流れと口上を覚える		テキスト+レジュメを使用。		
9~10	死化粧(あざ消し、シミ消し)のやり方を学ぶ①		テキスト+レジュメを使用。		
11~12	死化粧(あざ消し・シミ消し)のやり方を学ぶ②		テキスト+レジュメを使用。		
13~14	死化粧(あざ消し、シミ消し)をやり方を覚える		テキスト+レジュメを使用。		
15~16	死化粧(あざ消し、シミ消し)を実践できる		テキスト+レジュメを使用。		
17	遺体の状況を知るための方法を学ぶ		テキスト+レジュメを使用。		
18~19	遺体の確認ポイントを知り覚える		テキスト+レジュメを使用。		
20	遺体の状態や変化を学ぶ①(変色について)		テキスト+レジュメを使用。		
21	遺体の状態や変化を学ぶ②(漏出、むくみ)		テキスト+レジュメを使用。		
22	遺体の状態や変化を学ぶ③(スキンスリップ、腐敗)		テキスト+レジュメを使用。		
23	遺体の状態や変化を学ぶ④(皮下気腫、ガス)		テキスト+レジュメを使用。		
24~25	看護行為に起因する遺体の悪化状況を知る		テキスト+レジュメを使用。		
26~27	遺体の処置の目的や方法を学ぶ①(出血、点滴痕)		テキスト+レジュメを使用。		
28~29	遺体の処置の目的や方法を学ぶ②(腐敗、損傷)		テキスト+レジュメを使用。		
30	確認テスト		テストを作成する。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度20%、確認テスト80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			文字だけでなく写真や実習などを組み合わせて、少しでも実際の現場が想像できるようにする。		
教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場で10年以上携わっている				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	納棺師				
担当教員	あかり	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1、ご遺体の処置（死装束）への着せ替えを覚える				
学習目標 (到達目標)	一人で着せ替えができるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1・2	オリエンテーション（授業の目的を知る）～死化粧の目的を覚える	実習で学ぶ。			
3～5	死化粧を実践し、やり方を覚える（ペアになってお互いにメイク）	実習で学ぶ。			
6～8	死化粧を実践し、やり方を覚える（ペアになってお互いにメイク）	実習で学ぶ。			
9～11	死化粧を実践し、やり方を覚える（ペアになってお互いにメイク）	実習で学ぶ。			
12～23	着せ替えの仕方を実践で覚える	実習で学ぶ。			
24～25	確認テスト（一人で着せ替えを行う）	実習で学ぶ。			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度20%、確認テスト80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			着せ替えやメイクの実習を行うため、授業時の服装などにも注意が必要。		
教員の経歴	納棺師として現場で10年以上携わっている				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	葬祭フラワーⅡ				
担当教員	坂上久美子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	1、フラワーアレンジメントの基礎知識を学び、墓花や仏花・祭壇生花の設営の仕方を実践で学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	祭壇生花のデザインを考え、実際に飾ってみる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	生花を使用して実習で学ぶ。予算を決める。				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～2	生花のアレンジを作成する	実習で学ぶ。			
3～4	法要の筒花を作成する	実習で学ぶ。			
5～10	菊と生花で祭壇を制作（全員で1つの祭壇を作る）	実習で学ぶ。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		生花の扱い方を身につけさせる。			
生花店を経営して15年以上携わっている					

科目名	葬祭マーケティング論				
担当教員	(株)花安	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1、マーケティングの基本概念や考え方を学ぶ。 2、葬祭業界の歴史や変遷を知る 3、プレゼンテーション・ディスカッションを通して問題の発見・解決する能力を身につける				
学習目標 (到達目標)	相手に伝わるように、自分の意見が発表できるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	レジュメを使用。				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	オリエンテーション～授業の目的を知る	レジュメを使用。			
2	マーケティングの概念を知る	事前にパワーポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
3	4つのステップについて①細分化	事前にパワーポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
4	4つのステップについて②ターゲットの特化	事前にパワーポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
5・6	4つのステップについて③マーケティングミックス	事前にパワーポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
7・8	製品ライフサイクルの考え方を知る	事前にパワーポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
9・10	葬祭業についておけるライフサイクルを知る	事前にパワーポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
11・12	ブランドづくりについて知る	事前にパワーポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
13・14	葬祭業におけるブランドを知る	事前にパワーポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
15・16	葬祭事業者のそれぞれの取り組みを知る	事前にパワーポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
17・18	顧客との長期的なつながりをつくる事例を知る	事前にパワーポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
19・20	レポート発表	レポート提出。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
ディスカッションへの貢献度30% 課題発表提出40% 最終レポート30% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		毎回の授業までに資料を作成し、授業当日は発表できるように準備を行うこと。			
実務経験教員の経歴	江戸時代より、地元に着した葬儀社を経営。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	グリーフサポートⅡ				
担当教員	小林伸子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	1、死を迎えるまでの本人や家族の心理を知る。 2、グリーフにある人との向き合い方や接し方を身につける。				
学習目標 (到達目標)	グリーフに関する知識を身につける				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	レジュメを作成。				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1・2	オリエンテーション～「グリーフ」とは何かを学ぶ	レジュメを使用。			
3・6	病院でのエンゼルケア～看取りについて学ぶ	レジュメを使用。			
7・8	大人と子供のグリーフの違いについて学ぶ	レジュメを使用。			
9・10	グリーフの体験者同士のつながりを学ぶ。	レジュメを使用。			
11・12	最終レポート作成	レジュメを使用。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度50%	最終レポート50%	授業の目的を理解し、自分だったらと想像しながら取り組んでください。			
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	看護師としてホスピスに20年間勤務。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	グリーンワーク				
担当教員	馬場 秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1、グリーンを知り、受け入れるためのワークショップを実習で学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	グリーンに関する知識を身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	レジュメを使用。				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	授業の目的、グループワーク①	ワークショップ			
3 4	グループワーク②	ワークショップ			
5 6	グループワーク③	ワークショップ			
7 8	グループワーク④	ワークショップ			
9 10	グループワーク⑤ 授業の振り返りレポート	ワークショップ			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度80% 振り返りレポート20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			授業の目的を意識しながら、グループワークを行きましょう。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	営業力（営業力強化検定）				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	1、営業業務の基本的な知識を身につける 2、営業業務の技術を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	営業力強化検定に合格する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	売れる営業のABC				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1~2	オリエンテーション～営業とは何か	テキストとパワーポイントを使用。			
3~4	商品知識	テキストとパワーポイントを使用。			
5~6	マーケティング	テキストとパワーポイントを使用。			
7~8	顧客の購買心理	テキストとパワーポイントを使用。			
9~10	顧客ニーズ	テキストとパワーポイントを使用。			
11~12	ビジネスマナーとセールスマナー	テキストとパワーポイントを使用。			
13~14	営業プロセス①	テキストとパワーポイントを使用。			
15~16	営業プロセス②	テキストとパワーポイントを使用。			
17~18	コミュニケーション能力	テキストとパワーポイントを使用。			
19~20	提案書作成	テキストとパワーポイントを使用。			
21~22	販売促進	テキストとパワーポイントを使用。			
23~24	クレームと情報管理	テキストとパワーポイントを使用。			
25~33	練習問題	練習問題に取り組む			
34~35	確認テスト	テストを作成する。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出欠席100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		営業の仕事を学ぶことで、葬祭業界に限らず社会で活かせる力をつけさせる。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	事前相談実習				
担当教員	有限会社花久葬祭	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	1、事前相談業務の基本的な知識を身につける 2、事前相談業務の技術を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	事前相談業務におけるビジネスマナーや身だしなみ、言葉遣いを習得する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	レジュメを作成				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1~2	事前相談の役割・現状	テキスト+レジュメを使用。			
3~4	事前相談にお客様が求めるものとは	テキスト+レジュメを使用。			
5~6	事前相談をされることによるメリット（お客様）	テキスト+レジュメを使用。			
7~8	事前相談を行う葬儀社のメリット	テキスト+レジュメを使用。			
9~10	事前相談を行う際の注意点	テキスト+レジュメを使用。			
11~12	事前相談に求められる知識、能力	テキスト+レジュメを使用。			
13~14	正しい言葉遣い、身だしなみ	テキスト+レジュメを使用。			
15~16	電話対応	テキスト+レジュメを使用。			
17~18	接客基本動作、ロールプレイング	テキスト+レジュメを使用。			
19~20	確認テスト				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出欠席100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		自分が接客する立場を想像して、どんなスタッフであればお客様から信頼していただけるかを考えるながら取り組んでください。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場で10年以上携わっている				

科目名		イベントプロデュースⅡ			
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔と対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	170
授業概要、目的、授業の進め方	1、企業向け企画発表会を実施し、大人の意見をもらう場を設ける 2、企業連携イベントの実施（業界の課題や現在の取り組みを知り、業界発展の企画を実施する）				
学習目標 (到達目標)	卒業制作発表会で葬祭分野の発表を行う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論ほかレジュメを作成。				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～6	オリエンテーション～イベント内容を知る	レジュメを使用。			
7～22	現状調査	パソコンなどを使用。			
23～32	企画発表会の企画内容を考える	グループに分かれて現状を調査する。			
33～42	企画発表の台本作成	パソコンを使用。			
43～48	台本仮完成・PP作成	パソコン（ワード、パワーポイント）を使用。			
49～58	リハーサル	本番を想定して、身だしなみを整える			
59～64	企画発表会	不足の事態を想像しながら、周りと連携する			
65～66	振り返り～お礼状送付	レポート提出。			
67～82	アンケート内容などから企画の見直し・修正	グループに分かれて現状を調査する。			
83～92	企画書作成	パソコンを使用。			
93～96	企画書 仮完成	パソコンを使用。			
97～106	シナリオ、台本	パソコンを使用。			
107～122	企画書修正	パソコンを使用。			
123～128	企画書完成	パソコンを使用。			
129～143	シナリオ、台本、パワポ、ペーパー完成	パソコンを使用。			
144～158	プレゼンテーション練習	本番を想定して、身だしなみを整える			
159～166	プレゼンテーション本番	不足の事態を想像しながら、周りと連携する			
167～170	振り返り～お礼状送付	レポート提出。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		大人に聞いてもらうために、言葉遣いや身だしなみなど基本的なことから気を付ける。全員が関わるような仕組みを考え、達成感を感じさせる。			
教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった				

科目名	卒業制作				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	卒年次生	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	50
授業概要、目的、授業の進め方	業界が持つ、課題等を見つけ、それに対する企画を考え、提案していく。 イベントを通して、学年全体のつながりや、プランニング力、プレゼン力、チームワークなど実践を通して身につけ、イベントを実施する				
学習目標 (到達目標)	卒業制作発表会で、保護者や企業に発表する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1~2	動機付け、発表の内容、スケジュールについて		プリント		
3~4	グループにてスケジュール確認、発表内容と報告書の作成		プリント		
5~6	企業や団体などをリストアップし、現状や取り組みについてのアンケートや調査を行う		グループワーク		
7~10	スケジュールや進め方(新グループ、メンバー)を全体で共有する				
11~12	各グループは報告書完成させる。当日の会場装飾の準備を始める 実行委員は招待客のリストを作成する				
13~16	当日の発表に必要な台本+パワポを作成する				
17~18	当日の会場で、本番のイメージをつかむ				
19~22	台本+パワポの修正。完成。				
23~24	台本見ながら全体リハーサルを行い、他のグループ発表を聞いて、卒制全体のイメージをつかむ				
25~28	全体リハーサルの準備を始める(台本とパワポのタイミングを合わせる)				
29~32	企業の方に企画や発表を見ていただき、内容をより精査する 全体リハーサルの準備を行う(前後のつながりを考える)				
33~34	全体リハーサルを行い、卒制全体の流れを一人ひとりがつかむ				
35~36	全体リハーサルの準備を行う(聞いている人に伝わる話し方を意識しよう)				
37~40	全体リハーサル→振り返り、修正				
41~44	前日リハーサル→振り返り、修正				
45~48	企業、保護者本番				
49~50	振り返り(個人シート、グループ、実行委員他)		▼		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
卒制実施30%、出席率40%、学習意欲(授業態度)30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			業界の現状を調査し、課題を見つけ、それに対する提案を考えていきます。学生ならではの視点を重視し、実現可能かどうかも含めて、大人の意見を聞きながら進めていきます。自分たちの考えをまとめ、発信し、業界をよりよくするための発表を行います。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった				